

七段審査を終えて

2022年8月20日に新潟県立武道館で開催された剣道七段審査を受験し、合格することができました。これはすべて、これまでご指導くださった皆様のおかげです。心から感謝申し上げます。

私は近所の友人に誘われ、五泉小学校1年生から五泉市剣道連盟に入会し、剣道歴は35年です（継続は力なり）。文武両道を目指し、五泉北中学校、新潟明訓高校、青山学院大学で剣道を学び、多く皆様から厳しくも暖かいご指導いただき、現在はJR東日本に勤めています（交剣知愛）。ステージが変わるたびに、それまでの剣道を捨て、白紙から学びなおすことを繰り返しました（守破離）。当時は苦しかったですが今はそれが技術だけでなく精神力の土台になっていると感じています（心技体）。

4年前から五泉市剣道連盟小学生会員の指導に携わっています。日頃から繰り返し小学生に指導していることは「上位者から多く稽古をいただくこと」「勇気を出してまっすぐな面を打ち込むこと」です。しかしそれは、小学生だけでなく七段審査を受験する私にこそ必要な要件でした。それに気づいてからは、「小手先でなく捨てて打つ」「打たれても勉強」と思うようになりました。審査当日の立ち合いは、初太刀から2本連続で胴を抜かれましたが、動じることなく、魂を込めた面を打ち込むことができました。（不動心）

最後に、剣道の理念が「剣の理法の修練による人間形成の道である」ならば、剣道の意義は「勝利」や「昇段」では足りず「健康」と「継続」が求められるはずです。これまで私が剣道を健康に続けられたのは、丈夫に生み育ててくれた両親、理解し、応援してくれる妻、子供のおかげです。あらためて感謝いたします。

家族・会社・地域に必要とされる人間になれるよう、これからも素直な気持ちと感謝の心を忘れずに自己研鑽に努めます。

2022年8月吉日
五泉市剣道連盟
地 濃 文 央